

平成24年6月定例会 一般質問

市政を問う

今定例会では6月13日、14日に一般質問が行われ、11人の議員が質問に立ちました。

その主な内容を、紙面の都合上、1人2項目以内に要約して掲載しました。
掲載事項は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

詳細な内容は、会議録を製本の後、三原市議会事務局、市役所情報公開コーナー、三原市中央図書館に置いています。また、三原市ホームページでも閲覧できますのでご覧ください。(会議録の製本には、議会終了後おおむね3カ月を要します。)

HPアドレス <http://www.city.mihara.hiroshima.jp> → 市議会 → 会議録検索

市長の描く三原づくりを問う



ひやまさちぞう
松山 幸三 議員

問 「三原都市計画マスタープラン」によると、市役所・中央公民館・県の合同庁舎は中心地域のエリアにある。同じエリアで100メートルも離れていない場所への庁舎移転は、予算の使い方としてもつたいないのでは。

答 今回駅前東館跡地に、庁舎・市民利用施設を整備し活性化を図ることは、にぎわいづくりを図るとしている計画にマッチしたプランと考えている。
問 コンパクトシティとは、まちづくりで財政費用の負担を軽くする手法で、現有施設を有効活用し、不要施設は取り壊し、維持管理費用等の軽減を図る手法と考えるが。

答 市街地を無秩序に拡散するのではなく、中心市街地における商業機能・公益機能の適切な配置と既存市街地における居住によりにぎわいを創出し、歩いて暮らせる生活空間を実現させるのが大きな主題である。
問 今春、テレビで三原がよく放映された。多くの市民に見て貰うことで、誇りを持ち、一体感が生まれ、市の活性化につながると考えるが「広報みはら」に放映の予定日を掲載する等、広報戦略について問う。

観光行政について問う



興安丸の錨

答 本市広報基本方針に基づき、報道機関等へ積極的に情報提供・広報みはら・ホームページ及び三原市チャンネルの活用を中心に取り組んでいる。
問 道の駅「みはら神明の里」は単に物品販売だけでなく、交流の場の提供や各種情報発信と通行客を市内へ誘導するものも大切な役割であると思うが、その戦略について問う。

答 高齢者や障害者の休息やレクリエーション活動の場として利用が多いが、各種イベントを市が企画し、地域間交流を促していきたい。観光情報の発信やイベントなどのPRにも努める。

問 終戦直後、中国大陸からの引き揚げ船として活躍した「興安丸」の錨が三原にある。興安丸の果たしてきた役割を顕彰していく事が保管している者の務めではないか。また、そのことが立派な観光資源のひとつと考えるがどうか。

答 歴史文化的な観光資源のデータベース化に取り組みしており、興安丸の錨も含まれている。今後本市のホームページや「広報みはら」などで市民に周知を図っていきたい。



たかき たけこ
高木 武子 議員

公立保育所職員の人員配置と労働条件について

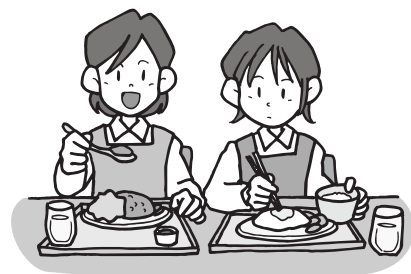
問 ①保育職場で担任を持っている臨時職員が、2カ月空けなければ、次につなげられない理由。
②担任を持っている恒常的な臨時職員の減と、正規職員の増員について。

答 ①臨時職員の任用については、地方公務員法と、三原市臨時職員取扱規程において、任期満了後、再度同一人を臨時職員に任用する場合2カ月以上の経過が必要と定められている。1カ月の場合雇用保険法、共済組合法等でいくと続いたことになる。政府の見解はあるが、専門家等の意見を聞き制度設計をしているので改める考えはない。②正規職員の増員については、三原市定員管理適正化計画により実施。臨時職員が担任を持っている現状が好ましい状況ではないと認識している。幼保の

適正化配置計画の一定のめどがつく段階で、このような状況は極力避けていきたい。

新設学校給食共同調理場におけるアレルギー対策について

問 自校方式や本郷、久井共同調理場でのアレルギー対策について。①子どもの状況把握する方法について。②除去食や代替食を行っているのにアレルギー反応が出たケース



スはなかったか。③普通食と除去食や代替食の調理器具をどう対応してきていたのか。④新共同調理場について、先の3点を踏まえたアレルギー食の対応ができる、調理器具の設備、人員配置が考えられているのか。

答 ①保護者からの申請で、医師の診断書、指示書等を添付。②対応の違いから事故を起こした事例はない。③アレルギーの原因食材が混入しないよう調理の場所、調理器具等は区別をしている。④現在の対応を踏まえ、新調理場では、調理室の中にアレルギー食コーナーを設置し、設備や器具を専用に配置している。アレルギー食を担当する調理員は専任で当たる。献立によってアレルギー食対応の食数はかわるので、担当する調理員の人数も毎日変動するが、調理員全体の枠の中で対応する。



まさひら ともはる
政平 智春 議員

新給食共同調理場の安全性は

問 学校現場における配膳の方法は。

答 学校規模に応じて配膳補助員を配置する。配置基準は、児童・生徒数200人以上の学校へ1名の配置とし、500人を超える規模の学校には人数の検討をしている。
問 配膳の作業が、一部の教職員に偏らないか。
答 配膳補助員を配置しない学校については、一部の教職員に過度の負担の偏りが無いよう指導する。

問 残滓（食べのこしなど）の処理と衛生面は。
答 調理場に返送された残滓は、粉砕器で粉砕し、脱水機で水分を飛ばし、一般廃棄物として処理する等、衛生面の問題は無いと考えている。

問 いまだに保護者への説明会が行われていないのでは。



三原市東部共同調理場

亡した交通事故が発生した。本市としてこれらの事故を受けてどのように対処したか。また、市として現在通学路の危険箇所をどのように把握しているか。

答 4月27日付で文部科学大臣から緊急メッセージが出され、県教委からも児童・生徒に対する交通安全教育の徹底について教育長通知があった。市教委としても、市内全小中学校に対して、児童・生徒に対する交通安全教育の徹底について教育長通知を出している。

通学路の危険箇所の把握は、平成18年2月に関係機関と連携をとり、市内全校区の通学路の安全点検を実施し、364カ所の危険箇所を把握し、対応を行っている。緊急な点検整備については、市としても再度全学的に通学路の安全点検を実施する必要があると考えている。

通学路の安全確保は

問 4月23日午前に亀岡市で小学校の児童、保護者を巻き込み、3人が死



陶 範昭
すえ のりあき
議員

統廃合による保育所、幼稚園、小学校の跡地利用について

問 小学校適正配置計画により、平成25年4月に小学校11校が閉校し3校に統合される。統合に向けて、5月に行われた閉校となる小学校の運動会では、地域の人の協力のもと、閉校記念行事として、感謝の気持ちを込めた横断幕の掲示や風船飛ばしなど、地域の人と一緒にのプログラムが組まれ、なごり惜しい特別な運動会となっていた。22年4月、跡地利用検討プロジェクトチームを発足しているが、どのような検討をし、各地域の学校統合準備協議会に対してどのような指示をしてきたか。来年4月に閉校する学校の跡地活用方法を早く示すべきではないか。今後の進め方はどう考えているか。

答 跡地活用については、保育所、小学校の統廃合と表裏一体で大変重要な課題である。各地域での跡地活用検討部会を開催し協議を進めてきたが、費用負担等の課題を整理する必要がある。その後、地元との協議が遅れている状況で、地元住民、関係者には大変心配をかけている。7月には地元協議で、意見交換をし、検討していく。跡地の活用方法については、公共としての活用、地元が主体となった活用、民間が主体となった活用、体となった活用があるが、公共施設の配置バランス、避難所等の地域の拠点であることを考慮しながら進めていく。



高坂小学校最後の運動会



帝人用地



駅前東館跡地



下西 勝彦
したにし かつひこ
議員

新庁舎問題は市長選挙で

問 私は、去る3月定例会で、駅前新庁舎の是非は来年4月の市長選挙で民意を聞こうと質問をした。その後も、この100日間なんら進展を見せぬまま、選挙まであと300日となった。

答 私は、去る3月定例会で、駅前新庁舎の是非は来年4月の市長選挙で民意を聞こうと質問をした。その後も、この100日間なんら進展を見せぬまま、選挙まであと300日となった。

また、本定例会へ統合保育所建設の補正予算が提出されているが、いまだ駅前への庁舎新設は、本会議で決議されてはいない。仮に駅前新築と言う修正案が否決されるなら、原案の帝人用地へ戻ることになるが、その用地へ先に保育所を建設しようとする補正は、先後逆ではないか。この駅前新築論議が長引く間に、政策論争ではなく人事を含めた政局になつてしまっているが、昨年11月、保育所・小学校・武道館の建設を目的として購入することが決定された。

一方、中心市街地の活性化は喫緊の課題であり、できるだけ早い時期に活性化策に取り組まなければ、都市間競争に取り残されることが危惧され、一刻も早い着手が必要である。

これまで約1年9カ月の審議を重ね、市の提案内容、経過など十分に理解している現議会でも審議を尽くしてほしい。